



令和5年度

瀬谷小だより

5月号



令和5年4月27日

横浜市立瀬谷小学校

学校ホームページ <https://www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/seya/>

瀬谷小のバディ活動

校長 藤田 陽子

1年生の教室に、今日も6年生の姿が見えます。登校時のあいさつや授業前の準備支援に続き、給食準備や後片付けなどに取り組みます。6年生は、1年生の目の高さに自分の目を合わせて話をしっかりと聞いたり、質問に答えたりしています。1年生は、そのように6年生から優しく丁寧に教えてもらうことがとても嬉しい様子です。自分ができることに生き生きとチャレンジし、校内でできる事柄をどんどん増やしていきます。



このような1年生との交流は、1年生の「お世話」ではありません。確かに、自分たちの給食準備や掃除に加え1年生の仕事も分担するなど、6年生はいつもより多くの仕事に取り組まなければなりません。しかしこの活動に取り組む6年生の表情にはこれまで以上の自信が見られ、その自信はこれから始まる委員会活動やクラブ活動、そしてバディ活動でのリーダーシップにつながっていくはずです。「1年生のために」と考えて行う活動は、1年生のためだけでなく、6年生が自身を最上級生として磨く行動になっているのだと考えます。

この交流は、1年生にとっても「教えてもらうこと」だけではありません。学校内で優しく接してくれる6年生とかかわりながら、1年生は友だちとの信頼関係を築きます。そして、カッコいい6年生の姿を見て「いつかは自分もできるようになりたい姿」として、目指す行動のモデルを獲得していきます。

異学年の友だちとの交流は、1年生と6年生だけが行うものではありません。本校では、2年生と3年生、そして4年生と5年生が年間を通し「バディ」として一人対一人、または一人対二人で深くかかわる交流活動を積み上げていきます。私たち教職員は、児童のこの「バディ活動」を全力で支援していきます。児童がバディとのコミュニケーションを通して友だちとのかかわり方を考え、時に悩みながらさらにかかわり、達成感や自信をもてる、そのような活動を目指し、今年度も取り組んで参ります。